



日本スーパーマーケット協会

平成22年3月 マンスリー レポート

集計企業数 60 社

① 売上高・前年同月比

	全 店			既 存 店	
	売上高	構成比(前月)	前年同月比(前月)	売上高	前年同月比(前月)
総 額	42,605,394 万円	100.0%	98.2%(100.4%)	40,582,608 万円	95.6%(96.4%)
食 料 品	35,112,452 万円	82.4%(84.7%)	98.4%(100.7%)	33,528,327 万円	96.0%(96.5%)
農 産	5,172,811 万円	12.1%(12.5%)	101.5%(102.6%)	4,949,506 万円	98.7%(98.9%)
水 産	3,753,640 万円	8.8%(9.0%)	98.3%(99.7%)	3,593,343 万円	95.7%(95.4%)
畜 産	4,020,133 万円	9.4%(9.7%)	96.7%(99.0%)	3,838,103 万円	96.2%(94.1%)
惣 菜	3,593,868 万円	8.4%(8.2%)	99.3%(101.2%)	3,425,821 万円	96.4%(97.0%)
日配食品	7,762,755 万円	18.2%(19.0%)	98.5%(100.6%)	7,390,957 万円	95.8%(96.4%)
加工食品	10,809,245 万円	25.4%(26.3%)	97.4%(100.6%)	10,330,597 万円	94.8%(96.7%)
生活関連	3,097,405 万円	7.3%(6.6%)	97.7%(99.0%)	2,962,217 万円	94.4%(96.4%)
衣 料 品	1,588,391 万円	3.7%(3.1%)	90.3%(90.4%)	1,532,478 万円	88.7%(90.0%)
そ の 他	2,807,146 万円	6.6%(5.6%)	100.9%(104.0%)	2,559,586 万円	96.3%(98.1%)

② 数 値

全店総売上高	42,605,394 万円	店 舗 数	3,876 店舗
総売場面積	7,210,149.5 m ²	総従業員数	208,731 人

店舗平均月商	10,992.1 万円	平均客単価 (前年同月比)	1,779 円(94.8%)
月間m ² 売上(前月)	5.9 万円(6.1 万円)	平均店舗面積	1,860.2 m ²
月間坪売上(前月)	19.5 万円(20.1 万円)	パート比率(前月)	76.5%(76.7%)

注) 総従業員数…パート・アルバイト数は、8時間換算しています

《 全体概況 》

- ・ 景気持ち直しと報じられたが、実感に乏しく4月以降のまとまった出費に対して、お客様の財布の紐はまだまだ固いと感じられる
- ・ 商圏内の価格競争はさらに激しくなっており、ピークタイムの客数が減少傾向にある
- ・ 内食傾向による手作り志向は継続していることから、より提案型の売場が求められている
- ・ 例年になく天候不順、寒暖の差が激しく、商品の確保や品揃えに苦労した

《 商品動向 》

○ 農産

- ・ 春物商材の売り込み時期であるが、寒暖の変化が激しく春キャベツ・新玉ねぎ・豆類・山菜等は相場高にも拘わらず売上を伸ばした
- ・ 野菜の相場高騰により、価格が安定しているカット野菜の動きがよかった
- ・ 果物は柑橘類が好調でデコポンがよく、輸入果物は、特にバナナが不調だった

○ 水産

- ・ 例年になく、しけの影響で、主力品のするめいか、真あじの入荷量が極端に不足し、品揃えにも影響した
- ・ チリの大地震以降、鮭の入荷量が少なく塩紅鮭を中心に品薄が続いた
- ・ 料理用途が広く食べ方などを提案したことから、旬のアサリが好調だった

○ 畜産

- ・ 行楽、花見シーズンで焼肉材料は好調だが、牛肉・豚肉・鶏肉トータルとしては変わらず不調だった
- ・ 行楽、新入学を控え、ハム・ソーセージ・ミートボールが好調だった
- ・ カレー・シチュー用の牛肉、低カロリーのしゃぶしゃぶ用豚肉の動向はよかった

○ 惣菜

- ・手作りおはぎ・お寿司・行楽弁当は好調だった
- ・ひな祭り、お彼岸、花見等でちらし寿司・手巻きすし・おこわが好調だった
- ・主力のコロッケ・フライ・サラダ材料が不調、全体的に低価格品に移行したことで売上がとりにくかった

○ 日配・加工食品

- ・ひな祭り、お彼岸等のハレの日に寿司関連ですし酢・海苔・かんぴょう・でんぶの動きがよかった
- ・ホワイトデーは、バレンタインデーの傾向と同様に安価な商品へシフトがみられた
- ・寒暖の差が大きく麺類は、気温に左右されにくい「つけ麺」が好調、HOT商材の肉ワンタン・中華マンの動きがよかった

○ ひな祭り

- ・雛あられ、白酒等の関連商品の動きは年々鈍く、桜餅・半生菓子は例年並み、その中で甘納豆は好調だった
- ・ハマグリは、国産より中国産をメインで販売、中国産に対するお客様の不信感も薄れたように思われる
- ・手作りホームパーティ用のちらし寿司・手巻きすしセットは好評だった

○お彼岸、行楽

- ・手作りおはぎは好調、ぼたもちの手造り材料（もち米・あんこ・小豆・すりごま・白玉粉）も好調だった
- ・際物を除いてお彼岸の傾向は年々薄れ、平月の土日と同様な買い物動向であった
- ・行楽、花見シーズンを控え売場展開するが、商品の動きが鈍く安価な商品への傾向が強い

以上